

「令和8年度公営企業予算編成過程の公開」に対する市民意見の内容及び市の考え方

「令和8年度公営企業予算編成過程の公開」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表します。

なお、ご意見については、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、一部要約又は分割して掲載しておりますのでご了承ください。

1 募集期間

令和7年11月17日（月）から令和7年12月17日（月）

追加及び変更分

令和8年1月9日（金）から令和8年1月19日（月）

2 意見数 51件（うち追加分 4件）

3 提出方法 電子メール51件

4 意見の内訳

(1)新規・拡充事項（22件）

(2)その他（29件）

名古屋市交通局企画財務部財務課

2 交通局への意見に対する市の考え方について

(1) 新規・拡充事項

バス車両の更新について 4件

- ・バス車両は競争入札ではなく随意契約により購入できないか。値段の安さではなく、快適性を考慮してほしい。
- ・車両更新台数が経営計画と比べて減っているのはなぜか。
- ・燃料電池バスや電気バスは導入しないのか。
- ・新車は左側最前列に座席のある座席配列にしてほしい。

(市の考え方)

- ・市の契約締結方式については、競争性、公平性、透明性の観点等から原則として一般競争入札としており、令和8年度に更新を行う市バス車両の購入契約についても、一般競争入札により契約業者を決定する予定です。
- ・更新台数については、車両の状態等を踏まえて必要に応じて見直しを行っております。
- ・燃料電池バスについては令和5年度に1両の運行を開始し、電気バスについては令和7年度に1両を導入し、令和8年度はそれぞれの車両の運行を行い、運用面での比較検討を行います。
- ・令和4年度より、導入するバス車両は、運転席左側方の視認性を向上させ、左折事故等を防止する安全性向上の観点から、左側最前列の一人席が無い車両としています。このことから、令和8年度も引き続き、左側最前列の座席は設置しない予定です。

鶴舞線可動式ホーム柵の整備について 1件

- ・手動運転のままホーム柵を設置するのは停止位置の修正増加が懸念されるため、一刻も早い鶴舞線全線のATO化をお願いしたい。

(市の考え方)

自動列車運転装置（ATO）の設置につきましては、様々な形式の車両があり、車両改造してもATOを搭載することができない車両があるため、困難です。

地下鉄車内カメラの設置について 3件

- ・地下鉄の車内カメラ設置のスピードが遅いと感じる。早急に導入すべき。
- ・名城・名港線車両に車内カメラを設置することになったのか。
- ・既存車両への車内カメラ設置と防犯カメラ付きの新型車両導入に反対する。どんな設備も完全には犯罪を防げず、防犯カメラは無駄なコストになる。

(市の考え方)

車内カメラは地下鉄全線に計画的に設置できるよう進めております。

地下鉄駅のリニューアルについて 3件

- ・駅のリニューアルは大切だが、柱のひらがなの駅名表記が消去されるのは寂しい。駅開業時のひらがなの駅名表記を地下鉄の「レトロな魅力」として残してほしい。
- ・駅をリニューアルして綺麗にしても、清掃が行き届いておらずすぐに汚れている。他事業者では多人数かつ機械を使用して清掃しており、清掃方法を検討してほしい。
- ・案内サインの内照が無い駅があり、案内サインが見にくい。必要な情報が利用者に伝わりにくいのは問題ではないか。駅のリニューアルは時間がかかっているおり、案内サインだけでも先行し集中的に整備すべき。

(市の考え方)

- ・地下鉄駅のリニューアルは、お客さまに明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、開業後 50 年以上を経過した駅について、駅全体の壁・床・天井・照明等をリニューアルする計画としています。駅開業時のひらがなの駅名表記を地下鉄の「レトロな魅力」として残すというご意見については、今後の参考とさせていただきます。
- ・リニューアルを実施した駅を綺麗な状態を維持し、お客さまに快適に地下鉄をご利用いただけるよう、人員数や清掃機器の活用について、いただきましたご意見を参考にさせていただきます、日頃からの清掃に取り組んでまいります。
- ・案内サインについては、ピクトグラムや駅番号の活用、文字や記号の拡大や色の組み合わせの工夫、また配置の連続性などにも配慮することにより、わかりやすい案内サインの整備を進めているところです。また、吊下型案内サインについては、省エネの推進とコスト削減の観点から、以前は非内照式を採用しておりましたが、省エネ効果の高いLED照明が一般的になったこともあり、現在は、内照式の吊下型案内サインも含め駅構内の照明について、順次LED照明への更新を進めているところです。非内照式の吊下型案内サインについては、駅リニューアルに併せて案内サインを更新し、内照式に改修する計画としておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

地下鉄駅ホームの冷房化について 2件

- ・将来的に全駅の冷房化を検討してほしい。
- ・駅ホームへの冷房設備を設置する場合は、待合室を設けて設置するなど冷房効率の良い方法を検討してほしい。

(市の考え方)

- ・乗車人員 1 万人以上の駅を中心に、駅ホームへの冷房設備の整備を着実に取り組んでまいります。
- ・駅ホームへの冷房設備を整備する場合は、効率的な整備を図るため、ホームの一部を冷房化する方針です。また、ホーム形状等の駅毎の状況及び整備費用を総合的に勘案し、冷房方式を決定してまいります。

キャッシュレス化の推進について 3件

- ・一日乗車券も二次元コード化するとともに、使用時に改札を通過する際に携帯電話が圏外になることのないよう、対策をしてほしい。
- ・マナカに一日乗車券の情報を書き込めるようにしてほしい。
- ・キャッシュレス化のためにまだ使える既存の改札機や券売機等を置き換えることには反対である。

(市の考え方)

- ・ドニチエコきっぷなどの一日乗車券の二次元コード化によるさらなるキャッシュレス化の推進につきましては、今後とも引き続き、検討を進めてまいります。地下鉄駅構内における携帯電話設備については、通信事業者が設置していますが、交通局としましても、通信環境の改善に向けて、通信事業者の取り組みに協力してまいります。
- ・マナカに一日乗車券の情報を書き込めるようにすることについては、多額の費用が必要なことから、現時点では困難と考えております。今後とも引き続き、利便性向上を図る方策の研究・検討を進めてまいります。
- ・クレジットカードタッチ決済等の導入に向けては、既存の自動改札機を改修することにより対応してまいります。

デジタルサイネージ広告の設置について 2件

- ・車内デジタルサイネージは東山線以外にも設置してほしい。また、交通局や他社線の運行情報も流してほしい。
- ・駅ホームの時刻表が廃止されたが、不便を感じる。ホームにデジタルサイネージを活用した時刻表を配置してほしい。

(市の考え方)

- ・他路線への車内デジタルサイネージ広告の拡大については、東山線での販売状況を踏まえ、ニーズの把握や収支を十分に見極めるとともに、新型車両の製造時などの機会も捉えながら、引き続き検討してまいります。なお、サブウェイビジョンは広告専用として設置しているため、運行情報等の配信については課題が多く、実施は困難です。
- ・地下鉄は、各駅停車で運行を行っており、また、運行間隔も概ね一定であることや、ホームでは次の列車やその次の列車の時刻を旅客案内表示装置でご案内していることから、駅ホームでの時刻表の掲出を取りやめました。改札口付近の時刻表はこれまでどおり掲出を行っており、また、お客さまからのお求めがあれば窓口でウェブサイトの時刻表を印刷したものをお渡ししておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

照明のLED化について 2件

- ・LED化はもう少しスピードを上げなければならない。蛍光灯の駅構内は薄暗いと思う。
- ・まだ使える既存の電球や蛍光灯を前倒して置き換えることは不要。交換期限が来たものから順次LED化すればよいのではないか。

(市の考え方)

駅構内の照明LED化については、国の方針を受け、令和12年度までの完了を目標に、予算の平準化も図りながら、計画的に進めているところです。合わせて、駅構内の明るさについても、国の基準を踏まえ、必要な明るさを確保してまいります。

安定的な人材確保 1件

- ・採用選考の応募者数を増加させるのであれば、応募年齢制限の大幅緩和や就職氷河期世代の積極採用も必要ではないか。他事業者では19歳からの大型二種免許取得を見据えた採用や外国人の採用をしているが、検討しているか。

(市の考え方)

採用選考の応募者数を増加させる取組みとして、広報活動の強化や試験内容の見直しを実施してまいります。また、応募年齢制限の緩和などいただいたご意見につきましては、他事業者の取組み事例を研究してまいります。

戦略的な利用促進策の展開 1件

- ・やみつきなごめしきっぷはお得感があるが、認知度が依然として低く、サービスセンターでの乗車券と交換が必要で使い勝手が良くない。二次元コード乗車券とし、スマホだけで乗車券と店舗割引が利用できるようにするとともに、他社と連携した特典・割引を用意すべき。

(市の考え方)

いただいたご意見を踏まえ、多くのお客さまに喜んでいただけるよう、今後も魅力向上に努めてまいります。

(2) その他

バスの運行について 6件

- ・深夜バスが無期限休止となっているが、いつまで休止を続けるのか。運行再開するのか廃止するのか、はっきりと方針を示してほしい。
- ・多くの乗客に市バス・地下鉄を利用してもらうことは有益だが、市バスと地下鉄が重複する区間や市バスの乗客が極端に少ない区間については、減便・区間短縮といった整理も必要ではないか。
- ・市バスが終点到達すると、休憩をほとんどせずに発車する様子を見かけるが、他事業者では遅れて終点到達したとき、折り返しの発車時刻を過ぎていても所定の休憩時間を取る。法令遵守及び職員の健康・安全運行の確保のために、市バスでも同様もしくは類似の仕組みを導入すべき。

(市の考え方)

- ・コロナ禍以降、現在も 22 時以降の深夜時間帯の利用者が減少したままであるため、深夜時間帯における市バス・地下鉄の利用状況、市中心部における深夜時間帯のにぎわい状況、社会情勢等もふまえて、運行の再開の可否について検討してまいります。
- ・今後も利便性の確保を図りつつ、効率的な交通サービスの提供に取り組んでまいります。
- ・交通局では、運行途中の渋滞などにより、連続運転時間の上限を超過する恐れがあるときは運行管理者に休憩等の指示を仰ぎ、必要な休憩を確保するなど、改善基準告示の遵守に取り組んでおります。

地下鉄車両の更新について 2件

- ・地下鉄車両の更新計画はどうなっているのか。少量ずつでも毎年更新が必要。
- ・地下鉄車両は 20 年ほどで車内をリニューアルしてほしい。シートだけではなく、床・壁紙を交換してリフレッシュが必要。車内の案内板も LCD に変更しわかりやすくしてほしい。

(市の考え方)

地下鉄車両は計画的に更新できるよう進めております。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

地下鉄車両の保存について 1件

- ・他事業者に譲渡した黄電を、譲渡先での廃車後に買い戻し、名古屋市で保存してほしい。

(市の考え方)

いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

地下鉄駅の旅客案内表示装置について 2件

- ・旅客案内表示装置について、他社線の運行情報を表示する際は、より具体的な内容を表示してほしい。また、緊急情報を表示すると次発の電車が表示されないため、改良してほしい。
- ・遅延が発生した際は、旅客案内表示器に遅延時分が表示できるようにするとともに、ホームページやアプリで列車の走行位置を表示できるようにしてほしい。

(市の考え方)

- ・旅客案内表示装置では、相互直通運転および地下鉄駅に接続する他社線について、遅延等の発生している路線や理由の情報を表示しています。他社線の詳細な情報につきましては、各事業者のホームページをご確認ください。旅客案内表示装置での表示内容につきましては、いただきましたご意見を参考にさせていただき、よりわかり易いご案内が行えるよう努めてまいります。
- ・遅延発生時には各駅にて放送等により遅延情報をご案内しておりますが、他事業者の事例を参考とし、よりわかり易いご案内が行えるよう努めてまいります。

地下鉄の信号システムの改良について 1件

- ・早期地震警報システムとATCとの連携や速度規制時でもATO運転ができるようなシステムの改良を検討してほしい。

(市の考え方)

名古屋市交通局では、列車無線装置と早期地震警報システムを連動させております。これにより、非常停止や運転指令室のオペレーションを通じて安全な運行を確保しております。

自動列車制御装置(ATC)や自動列車運転装置(ATO)との連携については、その必要性を踏まえ、設備更新時に検討を進めてまいります。

地下鉄の運行について 5件

- ・東山線は名古屋・伏見・栄の停車時間が短いため、停車時間をもっと伸ばしてほしい。
- ・休止となっている金曜の終電延長について、復活するか、正式に廃止するかはっきりしてほしい。
- ・乗車人員がコロナ前にほぼ達することを踏まえ、従前の運転間隔、運転本数としてほしい。
- ・各線の乗換え時間がタイトな駅が多いため、乗継ぎに考慮したダイヤとしてほしい。また、鶴舞線・桜通線の増便も検討してほしい。
- ・多くの人に市バス・地下鉄を利用してもらえるよう、乗換の利便性向上・接続改善など、他事業者との連携が不可欠である。

(市の考え方)

- ・東山線（名古屋・伏見・栄）の停車時間については、現在の利用状況から適正時間と考えております。今後も、利用状況を注視し利便性向上に努めてまいります。
- ・コロナ禍以降、現在も 22 時以降の深夜時間帯の利用者が減少したままであるため、深夜時間帯における市バス・地下鉄の利用状況、市中心部における深夜時間帯のにぎわい状況、社会情勢等もふまえて、運行の再開の可否について検討してまいります。
- ・引き続き、各路線の利用状況を注視し、必要に応じてダイヤ改正を検討します。また、市バス及び他事業者とも連携し、利便性向上に努めてまいります。

東山線の混雑緩和策の検討について 1件

- ・東山線から桜通線へ分散を進める手段として、名古屋駅東改札に号線判定用の中間改札を設け、東山線を利用した場合に加算運賃を課してはどうか。

(市の考え方)

東山線の混雑緩和策については、名古屋駅において、ポスター掲出や床サインを設置する等の桜通線への利用誘導を進めています。いただいたご提案や他事業者の事例等を踏まえ、引き続き効果的な混雑緩和策を研究してまいります。

地下鉄駅の通信環境の改善について 1件

- ・携帯電話の通信状況が悪いと感じるため、改善してほしい。時刻表を二次元コードで確認したり乗換の時刻を調べたりしたい時にモバイルが繋がらないと支障がある。

(市の考え方)

地下鉄駅構内における携帯電話設備については、通信事業者が設置しています。交通局としても、通信環境の改善に向けて、通信事業者の取り組みに協力してまいります。

地下鉄駅の清掃について 1件

- ・地下鉄駅構内の自動販売機ゴミ箱にゴミがあふれて、近くにも散乱している。ゴミ箱を改札口付近にも設置してほしい。

(市の考え方)

自動販売機のゴミ箱については、自動販売機設置事業者が定期的にゴミの回収をしておりますが、交通局としましても、お客さまに快適に地下鉄をご利用いただけるよう、日頃からの駅構内清掃に取り組んでおります。

新たなゴミ箱の設置については、地下鉄駅ではお客さまが安全・安心にご利用いただくためにテロの未然防止に取り組んでおり、不審物に対する警戒強化の観点から、駅構内のゴミ箱は必要最小限の設置数としておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

地下鉄のマナー啓発について 1件

- ・駆け込み乗車などの啓発放送を乗務員の判断で流せるようにしてほしい。運転士が案内できないときには、運転指令室からも車内放送ができるようにしてほしい。

(市の考え方)

現在でも、乗務員の判断で、状況に応じたマナー啓発車内アナウンスは可能となっています。引き続き、車内アナウンスはじめとして、ポスター掲出などによりマナー啓発をおこなってまいります。

地下鉄駅の人身事故対策について 1件

- ・ホーム柵の整備だけでは、線路内への故意の侵入による人身事故を防ぐことができないためA I 警備システムなどの導入により人身事故の抑制に努めてほしい。

(市の考え方)

ご提案のようなA I を用いた対応策につきましては、日進月歩で技術向上が行われており、今後とも情報収集に努めてまいります。

戦略的な情報発信について 2件

- ・交通局ニュースが廃止されたが、利用促進のため名古屋市内の魅力的な箇所を紹介する無料の冊子を毎月作成してはどうか。
- ・交通局ウェブサイトの各ページにはSNSへのリンクが設置されていないが、一般のユーザーによるSNSでの交通局事業の情報発信の増強に繋がるため、設置してほしい。

(市の考え方)

- ・市バス・地下鉄の利用者に加え、普段ご利用にならない方や若年層等に対しても幅広く発信ができ、また、迅速で高頻度な更新が可能であることから、SNSを活用しています。SNSでは、原則毎週、名古屋市内の魅力的な箇所等の紹介を行っております。
- ・SNSは重要な情報発信ツールであり、積極的に活用していきたいと考えております。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

環境負荷の低減について 1件

・環境負荷の軽減に向けた施策に乏しい。再生エネルギーの活用拡大、燃料電池バスの導入拡大、市バス営業所へのグリーン水素ステーション設置など、脱炭素施策を盛り込んでほしい。

(市の考え方)

交通局では、「名古屋市営交通事業経営計画 2028」において、照明のLED化、非化石エネルギー自動車の試行導入、高圧配電の送電ロスの削減に向けた整備、エコドライブの推進、公共交通利用の促進といった施策を掲げ、環境負荷の低減に取り組んでいるところです。

再生エネルギーの活用および燃料電池バスをはじめとした非化石エネルギー自動車の導入拡大については、社会情勢の変化や省エネ法等関係法令の動向を踏まえつつ、引き続き調査・検討を進めてまいります。

イベントの開催などによるお出かけ促進について 2件

・全国各地の交通事業者で、アニメ・映画・ドラマのラッピングやコラボ企画が盛んに行われており、ラッピングやヘッドマークを掲出した車両の運行をお願いしたい。

(市の考え方)

いただいたご意見を踏まえ、多くのお客さまに喜んでいただけるよう、今後も魅力向上に努めてまいります。

料金制度のあり方について 1件

・料金収入の改善として、座席指定列車を設定して特別料金を徴収したり市バスを値上げしたりするなどしてほしい。

(市の考え方)

料金については、事業の採算性、市民・利用者の負担、他事業者の動向などを考慮しながら決定していますが、利用動向やニーズの変化を踏まえつつ、今後も研究・検討を進めてまいります。

安全・安心な市バス・地下鉄について 1件

・市バスの不祥事が表立ってしまったことに憤りを感じる。隠蔽体質改善のため、予算を回し、安全・安心な市バス・地下鉄の運行に努めていただきたい。

(市の考え方)

今回の処分を厳粛に受け止め、輸送の安全確保に向けて、関係法令の厳守をはじめとする再発防止策を徹底するとともに、厳正な運行管理に取り組んでまいります。

※ご意見については、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、一部要約又は分割して掲載しております。